

開設の目的・概要 等			人生100年時代を迎え、がんや循環器疾患などの個人の遺伝特性と生活習慣により罹患を予測・予防できる疾患が増える中、予防医療と人間ドックのニーズが高まっている。人間ドックの受診者数は年々増加しており、一方で検査診断技術も劇的に進化し、リキッドバイオプシーや遺伝子検査など、医療健診機関を介さない疾病罹患予測も増加していくことが予想される。先端的な人間ドックについてエビデンスに基づく検査と適切なヘルスコミュニケーションにより、受診者のヘルスリテラシーを向上させることが求められている。 本講座は、大学病院での外来・入院ドックに加えて全ゲノム遺伝子検査を含む先端的人間ドックサービスを構築し、先端予防医学・人間ドックに対するニーズ・認知度・満足度の調査、疾病・生活習慣・健康情報の関連、新規予防医学的バイオマーカーの探索、ICTを活用した継続的なフォローアップと効果的な説明方法やヘルスコミュニケーションを構築し、先端予防医学や健康情報学の発展に資する研究を行う。 下記の教育研究を予定している。 1）人間ドック健診データを用いた生活習慣病に関する研究 2）先進的予防医療・人間ドックの開発に関する研究（全ゲノム遺伝子関連検査を含む） 3）生活習慣病とヘルスリテラシー（健康情報力）・行動変容に関する研究 4）企業の健康経営と生産性、医療費、データヘルスに関する研究 5）女性の健康に関する疫学研究・予防プログラムの開発		
区分	番号	学位論文	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年；巻（号）：ページ番号 , DOI	DOI	国際共同
英文原著	1		Yan Yan, Kanami Ito, Hiroshi Fukuda, Shuko Nojiri, Wataru Urasaki, Takamasa Yamamoto, Yuki Horiuchi, Satoshi Hori, Kazuhisa Takahashi, Toshio Naito &Yoko Tabe. SARS-CoV-2 seroprevalence among healthcare workers in a highly vaccinated Japanese medical center from 2020–2023. Human Vaccines & Immunotherapeutics., 2024; 20(1) :2337984.	10.1080/21645515.2024.2337984	
英文原著	2		Kumiko UEDA, Mariko HOJO, Kanami ITO, Shotaro OKI, Tsutomu TAKEDA, Yoichi AKAZAWA, Hiroya UEYAMA, Hiroshi FUKUDA, Toshio NAITO, Akihito NAGAHARA. Initiation of a Helicobacter pylori Screening Program: Enhancing Healthcare at Juntendo University. Juntendo Medical Journal., 2024; 70(3): 214-220.	－	
英文原著	3		Chiharu Miyayama, Hiromichi Shoji, Yayoi Murano, Kanami Ito, Mizue Saita, Toshio Naito, Hiroshi Fukuda and Toshiaki Shimizu. Body Mass Index Changes at 1.5 and 3 Years of Age Affect Adult Body Composition. Pediatric Reports., 2024; 16: 669–677.	10.3390/pediatric16030056	
英文原著	4		Masaki Takebayashi, Mira Namba Tatsuya Koyama, Yudai Kaneda, Hiroyuki Kawaguchi, Chiaki Uemura, Megumi Shibuya, Shin Murakami, Hiroshi Fukuda, Hirohide Shibutani. Impact on step count by commitment-based health application. PLOS ONE., 2024.	10.1371/journal.pone.0305765	
英文原著	5		Yosuke Shimada, Satoshi Hori, Hiroshi Fukuda, Narimasa Katsuta, Mizue Saita, Minoru Ohno, Masaya Satoh, Mari Sato, Toshio Naito.A matched case-control study on the attributable risk of CES-D positivity to the incidence of COVID-19 breakthrough infections. Environmental and Occupational Health Practice., 2024; 6	10.1539/eohp.2024-0007-OA	
英文原著	6		Fujimoto A, Kanegae H, Kitaoka K, Ohashi M, Okada K, Node K, Takase K, Fukuda H, Miyazaki T, Yano Y,The association between employee lifestyles and the rates of mental health-related absenteeism and turnover in Japanese companies, Epidemiol Health. 2024;46:e2024068.	10.4178/epih.e2024068	
区分	番号	－	発表者名,発表タイトル（題目・演題・課題等）,学会名,場所,発表年月日等	DOI	国際共同
国際学会発表	1		Hiroshi Fukuda, Keiji Kikuchi, Keisirou Sakata, Akiko Kawasaki. Evaluation of an ICT-based workplace health promotion program to improve health literacy. ICOH2024-34th International Congress on Occupational Health, Marrakesh, Morocco, May 2, 2024		
国際学会発表	2		Hiroshi Fukuda, Keiji Kikuchi, Keisirou Sakata, Akiko Kawasaki. Practice and Evaluation of Digital Health Literacy in the Workplace - Evaluation of the "Eat, Sleep and Walk" Workplace Health Promotion Program. The 10th AHILA International Health Literacy Conference, Ho Chi Minh City, Vietnam, May 15, 2024		

区分	番号	—	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年 ; 巻 (号) : ページ番号 ,DOI	DOI	国際共同
和文総説	1		福田洋. 特集・どうする!?健診異常—これってホントに異常なの? どう説明する?・総論①・健康診断とヘルスリテラシー. 総合診療, 2024; 34(7): 756-760.	—	
区分	番号	—	全著者名,書籍名,出版社名, 出版年, ページ番号等	DOI	国際共同
和文著書	1		金森悟・福田洋編著. 産業保健と看護2024年春季増刊・逆引きで問題解決! あるある事例から学ぶ産業保健現場のデータ活用術. 株式会社メディカ出版, 2024.		
区分	番号	—	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年 ; 巻 (号) : ページ番号 ,DOI	DOI	国際共同
和文症例報告	1		第50回健康教育・ヘルスプロモーション研究会, 福田洋. 健康教育・HP 分野の日本からの発信を増やすには・予防医療・職域分野でターゲットとすべき国際学会 (研究会報告) . 日本産業衛生学雑誌 2024; 66(6): 329-330	—	
区分	番号	—	発表者名,発表タイトル (題目・演題・課題等) ,学会名,場所,発表年月日等	DOI	国際共同
国内学会発表	1		伊藤佳奈美, 福田洋, 信田由佳, 高柳緑, 名倉梨絵, 松田奈津子, 須永裕香, 齋田瑞恵, 長岡鉄太郎, 内藤俊夫. 大学病院に勤務する医師における長時間労働とライフスタイルとの関連について. 日本総合健診医学会第52回大会, 倉敷アイビースクエア, 岡山県倉敷市, 2024年1月26日		
国内学会発表	2		瀧澤まゆみ, 厚美直孝, 近藤彰太郎, 松尾由美, 石井義恭, 福田洋. 「健康づくりモデル職場活動」による定期健診結果及び健康意識の変化. 第97回日本産業衛生学会, 広島国際会議場, 広島県広島市, 2024年5月24日		
国内学会発表	3		内田卓郎, 上村公介, 三澤麦リチャード, 白井結香, 湯浅駿, 三浦瞬, 齋田瑞恵, 横川博英, 福田洋, 内藤俊夫. 順天堂大学医学部附属順天堂医院で開始したスポーツドックの現状と今後の課題について. 第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, アクティシティ浜松, 静岡県浜松市, 2024年6月9日		
国内学会発表	4		高橋啓太郎, 勝田成昌, 福田洋, 齋田瑞恵, 長岡鉄太郎, 浦崎航, 野尻宗子, 堀賢, 内藤俊夫, 加藤忠史. COVID-19のパンデミック下の医療従事者における抑うつ症状の増加に関連する生活習慣. 第120回日本精神神経学会学術総会, 札幌市産業振興センター, 北海道札幌市, 2024年6月20日		
国内学会発表	5		福田洋. 健康教育・ヘルスプロモーション分野の国際学会発表の活性化 (第2報) ～ICOHとIUHPEの比較から考える. 第32回日本健康教育学会学術大会, 公立大学法人長野県立大学, 長野県長野市, 2024年7月7日		
国内学会発表	6		川口理恵, 福田洋, 三輪真也, 脇神亜希子, 志村麻衣子, 原田健, 高谷典秀. ヨーヨーダイエットにならない減量のための計画内容検討にむけた予備的調査. 第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会, パシフィコ横浜会議センター, 神奈川県横浜市, 2024年9月7日		
国内学会発表	7		武田岳, 大吉和奏, 村上晃満, 對馬啓, 川本和江, 五十嵐章紀, 山岡晋太郎, 福田洋. 口腔ケア習慣および口腔状態が現役世代の生活習慣病医療費に与える影響. 第34回日本産業衛生学会全国協議会, かずさアカデミアホール, 千葉県木更津市, 2024年10月4日		
国内学会発表	8		荒木舞愛, 塩見美紗, 福田洋, 高木由佳. 杉森 裕樹. オンライン健診導入に関する保健指導担当者の所属機関ごとの意見と相違. 第83回日本公衆衛生学会総会, 札幌コンベンションセンター, 北海道札幌市, 2024年10月31日		
区分	番号	—	講演者名, 講演タイトル, 学会名, 場所, 発表年月日等	DOI	国際共同
特別講演・招待講演	1		福田洋・前島洋平座長・演者, 池田孝行, 松尾浩紀. シンポジウム1 持続可能な健康経営, 持続可能な健康経営～従業員と組織のヘルスリテラシーを高める健康経営. 日本総合健診医学会第52回大会, 倉敷アイビースクエア, 岡山県倉敷市, 2024年1月26日		
特別講演・招待講演	2		福田洋・江口泰正座長, 吉田壘先生. 第49回健康教育・ヘルスプロモーション研究会・健康教育・ヘルスプロモーションにおける生成AI (ChatGPTなど) の活用と課題. 第97回日本産業衛生学会, 中国新聞社ビル7Fホール, 広島県広島市, 2024年5月24日		
特別講演・招待講演	3		奥原剛・江口泰正座長, 石川ひろの, 竹林正樹, 江口泰正, 福田洋. 第4回日本ヘルスリテラシー学会学術集会シンポジウム: 健康行動の変容を促す「ナッジ×ヘルスリテラシー」, 職場における「ナッジ×ヘルスリテラシー」の実践. ヘルスコミュニケーションウィーク2024,慶應義塾大学日吉キャンパス, 神奈川県横浜市, 2024年9月29日		
特別講演・招待講演	4		福田洋・江口泰正座長, 福田洋, 安倉沙織, 川崎亜希子, 江口泰正. シンポジウム7 健康教育・ヘルスプロモーション研究会シンポジウム, 職域におけるデジタルヘルスリテラシーの活用・デジタルヘルスリテラシーの概念・評価・活用. 第34回日本産業衛生学会全国協議会, かずさアカデミアホール, 千葉県木更津市, 2024年10月4日		
特別講演・招待講演	5		伊藤美千代・齊藤恭平座長, 福田洋指定発言, 高波利恵, 増澤清美, 山田杏子. シンポジウム1・産業看護の定義と体系化に基づく実践活動. 第21回日本ヘルスプロモーション学会・第13回日本産業看護学会合同学術大会, 帝京平成大学池袋キャンパス, 東京都, 2024年11月30日		
特別講演・招待講演	6		岡崎康司座長, 福田洋, 横川博英. イブニングセミナー2・順天堂医院におけるゲノム情報活用事例の紹介, 人間ドックにおける全ゲノム解析検査の活用. 第23回日本ミトコンドリア学会年会, 順天堂大学本郷キャンパス, 東京都, 2024年11月22日		